

部門へ依頼される共催・協賛などの対応について

部門主催行事および部門宛の共催、協賛、後援等の依頼に対しては、次のように対応する。

1) 区分

- ① 主催 (Sole-Sponsorship) : 部門が単独で主催する行事。部門協議会で、開催内容、予算書の承認を得る。会告に掲載する。行事名に **SICE** および部門の名称を入れる。資料等に **SICE** の名称および **SICE** と部門のロゴマークを明示する。
- ② 共催 (Co-Sponsorship) : 部門として予算負担あるいは人的負担を伴う行事。部門協議会で、開催内容、予算書の承認を得る。会告に掲載する。相手は、学協会あるいはそれに準ずる公益性の高い組織とする。原則として、行事名に **SICE** および部門の名称を入れ、資料等に **SICE** の名称および **SICE** と部門のロゴマークを明示する。公的機関あるいは学会等から、予算負担あるいは人的負担を伴わない行事について共催扱いとする依頼があった場合には、手続きは次項の協賛扱いとし、共催の表現を認める。
- ③ 協賛 (Technical Co-Sponsorship) : 部門として予算負担、人的負担を伴わない行事。部門協議会で開催内容の承認を得る。予算書の審議は行わない。会告に掲載する。相手は、学協会あるいはそれに準ずる公益性の高い組織とする。行事名に **SICE** および部門の名称を入れることはできない。資料等に **SICE** と部門のロゴマークを明示する。
- ④ 協力 (Cooperation) : 研究室などから広報等の要請があった行事。部門協議会で報告する。会告には掲載しないが、部門のホームページ等で広報できる。行事名に **SICE** および部門の名称を入れることはできない。資料等に **SICE** と部門のロゴマークを使用することはできない。
- ⑤ 後援 (Cooperation) : 主として官公庁等が行う行事への協力。公共性のある新聞社等の行事で民間企業が関与しない行事も含む。部門協議会で開催内容を報告する。行事名に **SICE** および部門の名称を入れることはできない。資料等に **SICE** と部門のロゴマークを使用することができる。

2) 理事会

部門協議会で承認した上記①～③の行事については、理事会に報告する。

3) 国際会議

上記①～③の行事において、それが国際的に開催される場合には、部門協議会から行事内容と予算書を国際委員会に報告し承認をうける。

以上